



ご挨拶

第30回日本産婦人科・新生児血液学会
学術集会会長 大賀 正一

九州大学大学院医学研究院成長発達医学

第30回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会を2020年12月21日（月）～26日（土）の6日間、COVID19感染拡大のため6月より延期してWebにて開催いたします。このたびは伝統ある本学会の節目となる第30回の学術集会長を拝命し、大変光栄に存じます。

この学会は、血液学の中でも血栓止血の生理的機構と様々な病態の解明にとりくむ基礎から臨床まで幅広い領域の研究者が集う学会です。周産期の出血と血栓から母と児を守るために、産婦人科医と新生児・小児科医が輸血や臨床検査を専門とする先生方とともに、血液学のアカデミズムを医療の実践に生かすことのできるユニークな学会です。

本学会の創設は1991年の第1回学術集会（寺尾俊彦会長、浜松医科大学産婦人科）に遡り、私共九州大学では2008年の第18回開催（原寿郎会長、九州大学小児科）から12年ぶりとなります。私たちの周産期血液学がさらなる進化をとげるよう、学会のテーマは“Elegant Solution in Perinatal Hematology”としました。特別講演には、日本血液学会理事長の赤司浩一先生に血液学の最新のトピックスを解説いただきます。海外からの招待講演には、バンコクのマヒドン大学からNongnuch Sirachainan先生に新生児の血栓症についてお話し頂きます。血栓症や血管炎との関連が注目されているCOVID19拡大の水際対策の実際について、九州大学名誉教授の藤本秀士先生にご講演をお願いしました。母児の周産期における血栓塞栓症、血友病、そして周産期血液学に関する3つのシンポジウムを企画し、産科と小児科のDICに関するワークショップと移行期医療のセミナーも計画しています。この学術集会で各領域のエキスパートが議論を重ねた成果が、周産期血液学における様々な領域の課題解決につながることを期待しています。

Web開催は初めての試みとなりますため、いたらない点も多々あるかと思いますが、皆様方におかれましては、是非この新しい形式での学術集会をお楽しみいただきたく思う次第です。

参加者の皆様へ

【参加登録】

第30回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会（Web開催）に参加を希望される方は、日本産婦人科・新生児血液学会ホームページに掲載の「【重要】Web開催の参加登録」より手続きを行ってください。「参加登録」ページにおいて、参加会員区分に従い登録手続きを行ってください。

なお、日本産科婦人科学会専門医の単位*を希望の方は、日本産科婦人科学会の会員番号の入力が必須となっております。

*専門医単位に関しましては次項「単位付与について」をご参照ください。

・会員・非会員の方

「参加登録」ページにおいて、登録手続き完了後にご予約確認と決済依頼メールが登録いただいたメールアドレス宛に送信されます。メール本文中の決済URLをクリックし、クレジットカードにて支払いを完了してください。こちらで登録完了です。領収書の発行が必要な方は当該サイトよりダウンロードください。お支払い完了後に「ご登録完了」メールが、登録いただいたメールアドレス宛に送信されます。

・初期研修医・学部生・医療技術者の方

「参加登録」ページにおいて、登録手続き完了後に「ご登録完了」メールが登録いただいたメールアドレス宛に送信されます。

「ご登録完了」メールの本文に参加のURLとIDならびにパスワードが記載されていますので、開催期間まで大切に保管してください。参加のURLにアクセスしメール記載のIDとパスワードでログインすると学術集会トップページが表示されます。

参加登録期間は下記の通りです。

参加登録期間
2020年11月16日（月）12:00 ～ 12月26日（土）23:59

【参加費】

会員・非会員	12,000円
初期研修医／医学部学生／ 医療技術者（助産師、看護師、臨床検査技師など）	無 料

単位付与について

専門医単位付与に関しましては、各学会で手続きが異なりますのでご注意ください。

・日本産科婦人科学会

参加登録時に必要事項（日本産科婦人科学会会員番号）を必ず登録ください。

日本産科婦人科学会会員番号*で、本学術集会運営事務局にて手続きさせていただきます。

*当該会員番号が不明の方は日本産科婦人科学会HP (<http://www.jsog.or.jp/>) よりお問合せください。

・日本周産期・新生児医学会

ご自身で参加証明書ならびに必要な資料をもちましてお手続きください。

【参加証明書】

参加証明書は、Web開催ページの参加証明書のサイトからダウンロードしてください。

【単位付与】

本学術集会（Web開催）に参加登録し、条件をみたしたことが確認できた場合、付与されます。

- (1)参加単位：開催期間中に一つ以上のセッション動画を最後まで視聴していただくことが条件となります。視聴履歴が記録されますので、ログインのみで、視聴記録が確認できなかった場合は単位付与とはなりません。

日本産科婦人科学会

日本産科婦人科学会専門医研修出席証明 10点

日本専門医機構学術集会参加 3単位

日本周産期・新生児医学会

周産期専門医資格更新認定単位 参加2単位

- (2)発表単位：筆頭演者として発表の場合に付与されます。

日本周産期・新生児医学会

周産期専門医資格更新認定単位 筆頭者発表2単位

- (3)機構単位

〔産婦人科領域講習〕

対象セッションを最後まで視聴いただきますと単位が付与されます。

対象セッション

プログラム名	タイトル	付与単位
ワークショップ 1	産科DICスコア改訂	2
シンポジウム 3	周産期血液学を拓く：血液腫瘍・造血不全・免疫不全	2

〔小児科領域講習〕

今回は対象となるセッションはございません。

※単位付与に関しましては現時点での情報になります。

単位付与、対象セッションが変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

第30回日本産婦人科・新生児血液学会 学術集会 タイムスケジュール

ライブ配信	
2020年12月25日（金）	
時間	
10:00	開会の辞
10:10 ～ 12:10	共催シンポジウム1「成育期女性と新生児にみられる血栓塞栓症」 座長：杉浦 真弓 西久保 敏也 演者：川口 龍二 篠原 康一 石村 匡崇 石黒 精 共催：帝人ファーマ株式会社
12:15 ～ 13:15	共催セミナー1「動き出したがんゲノム医療～九州大学病院での経験～」 座長：真部 淳 演者：小川 昌宣 共催：中外製薬株式会社
13:20 ～ 14:00	評議員会／総会
14:05 ～ 15:35	特別優秀演題選定セッション 座長：金井 誠 長 和俊
15:40 ～ 16:40	共催セミナー2「産科危機的出血に対して我々ができること」 座長：小林 隆夫 演者：牧野 真太郎 共催：日本血液製剤機構
16:45 ～ 17:45	共催セミナー3「新生児、小児に見られる血液凝固障害症の基礎と臨床のアップデート」 演者：野上 恵嗣 共催：ノボ・ノルディスクファーマ株式会社
17:50 ～ 18:50	共催セミナー4「過多月経の基礎疾患～フォン・ヴィレブランド病とは」 座長：森川 守 演者：日笠 聡 共催：武田薬品工業株式会社
18:55 ～ 19:10	閉会式 最優秀演題賞授賞式

オンデマンド配信	
2020年12月21日（月）～26日（土）	
特別講演 「ヒト白血病幹細胞の研究」 座長：原 寿郎 演者：赤司 浩一	一般演題① 「貧血と輸血療法」
教育講演 「Neonatal Thromboembolism: Presentation and Outcome」 座長：大賀 正一 演者：Nongnuch Sirachainan	一般演題② 「母児血栓塞栓症」
ワークショップ1 「産科DICスコア改訂」 座長：小林 隆夫 安達 知子 演者：松永 茂剛 森川 守 板倉 敦夫	一般演題③ 「新生児炎症性疾患と免疫不全」
ワークショップ2 「新生児DICセミナー」 座長：荒木 俊介 長江 千愛 演者：郷 勇人 小町 詩織 市川 俊 高橋 大二郎	一般演題④ 「凝固障害を伴う胎盤機能不全」
企業共催シンポジウム2 「血友病周産期を取り巻く課題」 演者：瀧 正志 西田 恭治 松原 圭一 金田 眞 共催：サノフィ株式会社	一般演題⑤ 「循環器疾患」
シンポジウム3 「周産期血液学を拓く：血液腫瘍・造血不全・免疫不全」 座長：小林 裕明 滝田 順子 演者：城戸 咲 大戸 斉 菅野 仁 國島 伸治 伊藤 悦朗	一般演題⑥ 「母児免疫性疾患」
セミナー 座長：池田 智明 演者：山村 健一郎 吉松 淳	一般演題⑦ 「新生児出血性疾患」
特別企画 「地域周産期医療における新型コロナウイルス感染症の実践的対応」 演者：小川 伸二 佐藤 和夫 藤本 秀士	一般演題⑧ 「母体血管障害と血栓性素因」
	移行期医療を要する女性が安心して出産を迎えるには～抗凝固療法を要するAdult CHDから考える

■ 特別講演

「ヒト白血病幹細胞の研究」

座長：福岡市立こども病院

院長 原 寿郎

演者：九州大学医学部 第一内科（病態修復内科）

教授 赤司 浩一

■ 教育講演

「Neonatal Thromboembolism: Presentation and Outcome」

座長：九州大学医学部 小児科（成長発達医学分野）

教授 大賀 正一

演者：Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Ramathibodi Hospital,
Mahidol University, Bangkok, Thailand

Associate Professor Nongnuch Sirachainan

■ 特別優秀演題選定セッション

2020年12月25日（金）14：05～15：35 ライブ配信

座長：信州大学医学部保健学科 小児・母性看護学領域

教授 金井 誠

演者：北海道大学病院 周産母子センター

診療教授 長 和俊

■ ワークショップ

テーマ1 「産科DICスコア改訂」

座長：浜松医療センター

名誉院長 小林 隆夫

恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院

院長 安達 知子

「検査値から見るDICの病態」

S1-2

演者：埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科

准教授 松永 茂剛

「多施設共同研究の結果について」

S3-4

演者：北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学

准教授 森川 守

「産科DICスコアの改訂案」

S5-6

演者：順天堂大学医学部附属順天堂医院 産科・婦人科

教授 板倉 敦夫

「パネルディスカッション」

テーマ2 「新生児DICセミナー」

座長：産業医科大学 小児科学

講師 荒木 俊介

聖マリアンナ医科大学 小児科学

講師 長江 千愛

「新生児期のDICの特徴とその背景」

S7-8

演者：福島県立医科大学 総合周産期母子医療センター

講師 郷 勇人

「新生児DICの紛らわしい病態とその鑑別方法」

S9-10

演者：聖マリアンナ医科大学 小児科学

助教 小町 詩織

「新生児DICに関する診断・治療の現況

ー九州地区におけるアンケート調査ー

S11-12

演者：産業医科大学 小児科学

助教 市川 俊

「新生児DICの抗凝固療法 ーエビデンスから何を読み取るかー」

S13-14

演者：福田病院 新生児科

部長 高橋大二郎

「パネルディスカッション」

■ シンポジウム

テーマ1 「成育期女性と新生児にみられる血栓塞栓症」

2020年12月25日（金）10：10～12：10 ライブ配信

座長：名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学

教授 杉浦 真弓

奈良県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門

診療教授 西久保敏也

共催：帝人ファーマ株式会社

「婦人科領域におけるがん関連血栓症」

S15-16

演者：奈良県立医科大学 産婦人科

准教授 川口 龍二

「OC・LEP製剤と動静脈血栓症 ー早期発見・重篤化を防ぐには」

S17-18

演者：愛知医科大学 産婦人科学

特任教授 篠原 康一

「新生児の遺伝性血栓症～疫学と病因、治療選択～」

S19-20

演者：九州大学病院総合周産期母子医療センター（小児科） 助教（学内講師） 石村 匡崇

「遺伝性プロテインC欠乏症における肝移植の展望」

S21-22

演者：国立成育医療研究センター 教育研修センター センター長 石黒 精

テーマ2 「血友病周産期を取り巻く課題」

共催：サノフィ株式会社

「「エキスパートの意見に基づく血友病周産期管理指針2017年版」の骨子」

演者：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 小児科 特任教授 瀧 正志

「保因者の現状と課題」

演者：大阪医療センター 感染症内科 医長 西田 恭治

「血友病保因妊婦の分娩管理について」

演者：産業医科大学 産科婦人科学 柴原 真美

「小児期における血友病保因者の管理」

演者：札幌徳洲会病院 小児科 主任部長・血友病センター副センター長 金田 眞

「パネルディスカッション」

パネリスト：久留米大学病院 小児科 助教 松尾 陽子
札幌徳洲会病院 小児科 主任部長・血友病センター副センター長 金田 眞
産業医科大学 産科婦人科学 講師 柴田 英治
奈良県立医科大学 小児科 講師 武山 雅博
大阪医療センター 感染症内科 医長 西田 恭治
久留米大学病院 産科婦人科 講師 上妻 友隆

テーマ3 「周産期血液学を拓く：血液腫瘍・造血不全・免疫不全」

座長：鹿児島大学医学部 産科婦人科 教授 小林 裕明

京都大学医学部 発達小児科学 教授 滝田 順子

「全身性エリテマトーデス合併妊娠」

S23-24

演者：九州大学医学部 婦人科学産科学 助教 城戸 咲

「血球分化における不規則抗体の発生と新生児溶血性貧血性疾患」 S25-26

演者：福島県立医科大学医学部 輸血・移植免疫学

総括副学長／名誉教授

大戸 齊

「産科・新生児科で遭遇する先天性溶血性貧血：最近のトピックス」 S27-28

演者：東京女子医科大学 輸血・細胞プロセッシング部

教授 菅野 仁

「母子の血小板減少症」 S29-30

演者：岐阜医療科学大学保健科学部 臨床検査学科

教授 國島 伸治

「Down症の小児におけるTAMから骨髄性白血病進展の分子機構」 S31-32

演者：弘前大学医学部 小児科学

名誉教授／特任教授 伊藤 悦朗

■ セミナー

テーマ：「移行期医療を要する女性が安心して出産を迎えるには
～抗凝固療法を要するAdult CHDから考える」

座長：三重大学医学部 産科婦人科学

教授 池田 智明

「成人先天性心疾患の自然歴、若年女性に対する指導
～本邦と欧米の知見に基づいて」 S33-34

演者：九州大学医学部 小児科（成長発達医学分野）

講師 山村健一郎

「抗凝固療法を要するAdult CHDの妊娠管理 ～抗凝固管理の観点」 S35-36

演者：国立循環器病センター 産婦人科部

部長 吉松 淳

■ 特別企画

テーマ：「地域周産期医療における新型コロナウイルスの実践的対応」

「産科医療における実践的対応」

演者：国立病院機構九州医療センター 婦人科

科長 小川 伸二

「新生児医療における実践的対応」

演者：国立病院機構九州医療センター 小児科

科長 佐藤 和夫

「感染症の水際対策：COVID19を中心に」

演者：九州大学

名誉教授 藤本 秀士

■ 共催セミナー

共催セミナー1 2020年12月25日（金）12：15～13：15 ライブ配信

「動き出したがんゲノム医療～九州大学病院での経験～」

座長：北海道大学医学部 小児科学

教授 真部 淳

演者：九州大学 環境発達医学研究センター

特任教授 小川 昌宣

共催：中外製薬株式会社

共催セミナー2 2020年12月25日（金）15：40～16：40 ライブ配信

「産科危機的出血に対して我々ができること」

座長：浜松医療センター

名誉院長 小林 隆夫

演者：順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科

教授 牧野真太郎

共催：日本血液製剤機構

共催セミナー3 2020年12月25日（金）16：45～17：45 ライブ配信

「新生児、小児に見られる血液凝固障害症の基礎と臨床のアップデート」

演者：奈良県立医科大学 小児科学

准教授 野上 恵嗣

共催：ノボ・ノルディスクファーマ株式会社

共催セミナー4 2020年12月25日（金）17：50～18：50 ライブ配信

「過多月経の基礎疾患～フォン・ヴィレブランド病とは」

座長：北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学

准教授 森川 守

演者：兵庫医科大学 血液内科

講師 日笠 聡

共催：武田薬品工業株式会社

学術集会賛助リスト

本学術集会にあたり、下記各位よりご支援、ご協力をいただきました。
ここに記して、厚く御礼申し上げます。

〈共 催〉

帝人ファーマ株式会社
サノフィ株式会社
中外製薬株式会社
日本血液製剤機構
ノボ・ノルディスクファーマ株式会社
武田薬品工業株式会社

〈展 示〉

アッヴィ合同会社
東亜新薬株式会社
ノバルティス ファーマ株式会社
フクダ電子株式会社

(50音順、2020年11月5日現在)

■ 特別優秀候補演題

● 査読○の演題は、本誌後半の学会誌に原著／症例報告として内容が掲載されています。

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
特別優秀演題選定セッション					
2020年12月25日(金) 14:05～15:35 録画によるライブ配信ならびにオンデマンド配信					
座長：金井 誠 信州大学医学部保健学科 小児・母性看護学領域 長 和俊 北海道大学病院 周産母子センター					
S1		三重大学	榎本 尚助	妊娠後期におけるC1インヒビターの基準範囲	S37-38
S2		三重大学医学部附属病院	真木晋太郎	FGRに対するタダラフィルの投与による胎児胎盤循環評価 -TADAFER II試験における超音波ドブラ解析-	S39-40
S3		埼玉医科大学総合医療センター	中村 永信	産科大量出血におけるPOCT(point of care testing)機器の有用性に関する比較検討	S41-42
S4	○	国立成育医療研究センター	森脇 太郎	早期治療により救命し得た家族性血球貪食症候群2型の生後1か月児例	1-2
S5	○	福岡大学病院	太原 鉄平	急性前骨髄球性白血病を発症したBeckwith-Wiedemann症候群の1歳女児例	3-4
S6		九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野	園田 素史	本邦における新生児単純ヘルペス感染症の全国疫学調査	S43-44

■ 一般演題

● 査読○の演題は、本誌後半の学会誌に原著／症例報告として内容が掲載されています。

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
一般演題①：貧血と輸血療法					
1	○	三重大学医学部附属病院	加藤 麻耶	外回転術が契機になったと考えられる母児間輸血症候群の一例	5-6
2	○	医療法人社団 中林病院	中林 靖	胎児貧血および羊水過多を合併した絨毛血管腫の1例	7-8
3		聖マリアンナ医科大学	岩端 秀之	胎児輸血を要した胎盤腫瘍の一例	S45-46
4		大和高田市立病院	川口 千晴	乳児期に鉄欠乏性貧血を合併したLate preterm infantの2例	S47-48
5		九州大学大学院医学研究院	Nina Lenhartová	極低出生体重児の新生児期におけるエリスロフェロン値	S49-50
6		東京都立墨東病院	藤田 浩	小容量製剤へのカリウム吸着フィルターの使用基準と血液製剤の院内分割マニュアル改訂	S51-52

一般演題②：母児血栓塞栓症					
7	○	聖マリアンナ医科大学	本間 千夏	妊娠中期中絶中に明らかとなった深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の一例	9-10
8	○	浜松医療センター	丸山 享子	楔入胎盤を合併し子宮摘出をした、子宮動脈塞栓術後妊娠の一例	11-12
9	○	大阪市立大学	吉田 智弘	帝王切開中に肺血栓塞栓症を発症し心停止に至った一症例	13-14
10	○	東京都立墨東病院	塚本 博幸	子宮型羊水塞栓症に劇症型溶連菌感染性ショックを併発した1例	15-16
11	○	国立病院機構 嬉野医療センター	森田 駿	緊急帝王切開で出生し、病理検査で臍帯血管血栓症と診断した新生児の1例	17-18
12		宮崎市医師会病院	後藤 夏美	当院で経験した出産可能年齢の女性の静脈血栓塞栓症30例の検討	S53-54

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
一般演題③：新生児炎症性疾患と免疫不全					
13	○	神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座小児科学分野	生田 寿彦	出生時に好中球減少が見られたが、G-CSF が有効であった先天性サイトメガロウィルス感染症の一例	19-20
14		九州大学病院	山本 俊亮	後天性 CMV 感染症により重症化した新生児ループス	S55-56
15	○	聖マリアンナ医科大学病院	鈴木 真波	当施設で経験した単純ヘルペスウイルス感染症からの血球貪食性リンパ組織球症と診断した2症例	21-22
16	○	山口大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター	藤本 洋輔	乳児期に Hoyeraal-hreidarsson syndrome と診断した極低出生体重児例	23-24
17	○	九州大学病院 産婦人科	森下 博貴	胎児期に家族性血球貪食性リンパ組織球症を疑い、迅速な新生児医療への移行により救命できた一例	25-26
18		九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野	江口 克秀	胎児・新生児期における原発性免疫不全症の早期診断の意義	S57-58

一般演題④：凝固障害を伴う胎盤機能不全					
19	○	聖路加国際病院	佐藤 亜美	HELLP 症候群の診断で帝王切開術を施行し、術後の急性腎障害に対して血液透析を要した1例	27-28
20	○	信州大学	藤岡磨里奈	腎障害が遷延し血液透析を必要とした産褥 HELLP 症候群の1例	29-30
21		済生会松阪総合病院	小高 紗季	産褥2日目に発症した HELLP 症候群の一例	S59-60
22	○	近畿大学奈良病院	西岡 和弘	急激に肝逸脱酵素が上昇した妊娠性肝内胆汁うっ滞症の1例	31-32
23		九州大学病院	田口 裕樹	経腔分娩を試行した子宮内胎児死亡を伴う常位胎盤早期剥離の臨床経過	S61-62
24	○	総合母子保健センター愛育病院	竹田 善治	分娩時に発症した常位胎盤早期剥離の臨床的検討	33-34
25		聖マリアンナ医科大学	古谷 菜摘	微細超音波ドプラ法による新しい胎盤機能不全の評価に関する検討	S63-64
26		埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター	三澤 将大	TEG6s における低フィブリノゲン血症の同定法	S65-66
27	○	東京都立墨東病院	藤田 浩	産科小規模医療機関での血液の返品再利用は可能か？	35-36

一般演題⑤：循環器疾患					
28	○	神奈川県立こども医療センター	福田 淳奈	高心拍性心不全と Kasabach-Merritt 現象を合併した脈管性腫瘍の1例	37-38
29		三重大学	桂木 真司	脳血管障害と心臓・大動脈疾患における妊産婦と非妊婦の死亡率の比較	S67-68
30		日本赤十字社 奈良県赤十字血液センター	高橋 幸博	動脈管開存は Upshaw-Schulman 症候群で血小板減少を伴う新生児溶血性黄疸を生じる	S69-70

● 査読○の演題は、本誌後半の学会誌に原著／症例報告として内容が掲載されています。

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
一般演題⑥：母児免疫性疾患					
31		大阪市立大学女性生涯医学教室	奥村 真侑	難治性特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠に対してエルトロンボパグが有効であった1例	S71-72
32	○	産業医科大学	平川 潤	免疫性血小板減少症合併母体から出生し血小板減少が遷延した早産児の1例	39-40
33	○	聖マリアンナ医科大学病院	砂田 美希	母体血小板数が正常のITP合併妊婦から出生した新生児血小板減少症の一例	41-42
34		福島県立医科大学附属病院	嶋 恵理子	抗HLA-A31+B61抗体による新生児同種免疫性血小板減少症を合併したDown症候群の一例	S73-74
35		福岡市立病院機構福岡市立こども病院	福田 善久	抗Mによる胎児新生児溶血性疾患において異なる臨床経過をたどった妊産婦の1症例2妊娠	S75-76
36		国立病院機構九州医療センター	蛭原 郷	母児ともに血小板減少を認めたGaucher病2型の新生児例	S77-78
37	○	産業医科大学	神田 里湖	特異的顔貌が目立たず心室中隔欠損症と血小板減少からJacobsen症候群と診断された1例	43-44

一般演題⑦：新生児出血性疾患					
38	○	神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座小児科学分野	仲宗根瑠花	出生時の超音波スクリーニングで発見した右頭頂葉出血の1例	45-46
39	○	神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座小児科学分野	阿部 真也	亜鉛投与によって改善した皮膚症状に先行して腸瘻からの出血が遷延した低亜鉛血症を呈する極低出生体重児の一例	47-48
40	○	福島県立医科大学 小児科	細矢 薫子	交換輸血が有効であった全身性炎症反応症候群(SIRS)の超低出生体重児症例	49-50
41	○	神戸大学大学院医学研究科内科系講座 小児科学分野	芦名満理子	高感度PIVKA II測定法を用いたハイリスク新生児における潜在性ビタミンK欠乏症のスクリーニング	51-52
42		日本赤十字社 奈良県赤十字血液センター	高橋 幸博	新生児仮死および低酸素性虚血性脳症に伴う播種性血管内凝固 —APTTと予後—	S79-80
43		奈良県立医科大学附属病院	西久保敏也	Plasminogen Activator Inhibitor-1の発現抑制は高濃度酸素投与による慢性肺疾患を予防する	S81-82

一般演題⑧：母体血管傷害と血栓性素因					
44		順天堂大学医学部附属順天堂医院	菅井 里穂	汎血球減少および脾腫合併妊娠の一例	S83-84
45	○	東京都立墨東病院	新田 慧	妊娠中期に二次性血栓性微小血管障害に至った全身性エリテマトーデス合併妊娠	53-54
46	○	長崎大学病院	重松 祐輔	先天性第V因子欠乏症合併妊娠の一例	55-56
47		長崎大学	楠本 紗羅	当院におけるプロテインS欠乏症合併妊娠の検討	S85-86
48		三重大学	二井 理文	先天性アンチトロンピン欠乏症合併妊娠の3例	S87-88
49		北海道大学病院	森川 守	先天性アンチトロンピン欠損症合併妊娠の管理指針案	S89-90